

天明まちづくりセンターだより

発行／熊本市南区天明まちづくりセンター 〒861-4125 熊本市南区奥古閑町 2035 TEL223-1117 FAX223-3275

中緑小キジ放鳥体験

10月30日、中無田閘門周辺河川敷にて、中緑小4年生が日本キジの放鳥体験をしました。自然環境や野生動物保護の大切さを知ることを目的として、熊本県猟友会川尻支部の主催により行われました。



天明の歴史シリーズ9 奥古閑校区 干拓の歴史と祭り

第9弾「干拓の歴史と祭り」の紹介者は吉村正美さんです。

加藤清正が、領主として隈本城に入ったのは、天正16年(1588年)である。その後、寛永9年(1632年)に細川忠利が入封した。

天明新川は、天明6年(1786年)にできた。それまで「干拓」という用語はなく、「開発」、「埋め立て」、「開墾」と言っていた。「干拓」という用語ができたのは、大正3年である。海水が引いて、土地や砂、粘土が現れる場所に松の丸太で作った柵をのせ、その上に石や土を置いて堤防を作った。干上がると海底だった土地は川の土砂が良く混ざり、作物に必要な養分が多く含まれていた。今回は奥古閑の干拓を述べた。海路口では奥古閑の「手永開(てながびらき)」に沿った「築添塘開(つきそいともびらき)」の西に開かれた干拓「鰐寡開(かんかびらき)」が最も古い。老年になり妻を持たぬ者を鰐(かん)といい、また夫と離別・死別した者を寡(か)と言った。細川侯はそうした老人の救済事業として農地を広めた。別名「有明新地」という。細川重賢(8代目藩主)は子弟教育のため「時習館」を興した。これは日本で初めての公立学校で、身分に関係なく志を持つ者は入学できた。幕末、肥後が生んだ思想家「横井小楠」、済々黌創立者「佐々友房」も学んだ。「学料開」は、時習館の経営費にあてられた。こうした新地は、「益城開」「浦田開」「採蠟司開」「御郡新地」「二の丸新地」と呼ばれ、町内の名称となっている。干拓により肥後細川の人口は、寛永12年(1634年)20万3千人から、100年後の享保17年(1732年)には、50万1千人と2.6倍増となった。干拓の潮止め工事が終了と共に、海路口町に3つの龍神社が祀られた。学料では、「年行司」、14年毎の秋季例大祭が、平成21年に行われた。同年春に浦田龍神社では、干拓百五十年祭が実施された。干拓の苦勞と先人への感謝は、12月の「三日祭り」と「五日祭り」として続いている。4町内(北沖)と5町内(古新地)では、毎年12月5日には、慶長7年(1602年)の刻印がある膳と椀に新米や鯛を奉納し、各家が持ちまわっている。そこで皆酒をくみかわし、往事を偲んでいる。

第25回 奥古閑ふれあいのつどい

11月4日、奥古閑小学校にて地域の皆様のご協力のもと「奥古閑ふれあいのつどい」がありました。これは児童の郷土を大切にすることを育てるために毎年開かれており、今年も「将棋・バルーンアート・グラウンドゴルフ・お手玉・囲碁・コルクボード、お茶・踊り・料理・竹工作」に分かれて活動をされました。



第5回 天明かかしコンテスト

11月11日、国道501号線沿いの田んぼにて、天明南園会主催のかかしコンテストがありました。10点の作品より今年の金賞に選ばれたのは、銭塘小「紙しばいはじまるよ!!」でした。作品は、12月末までこの場所に展示され、その後熊本城マラソンコース沿いに展示されます。



第8回 川口元気フェスタ

11月4日、川口小学校にて川口自治協健康づくり部会と同校による川口元気フェスタがありました。これは健康に関する体験活動を通じ児童や地域の皆さんの健康への関心を高めるために毎年開かれています。今年は「理想の塩分みそ汁試飲・医師によるエコー検査実演・痛みの相談・ピンポン玉つかみ・棒つかみ・体組成検査・ストロークゲーム・新聞乗りジャンケン・柔軟体操」の体験ブースがありました。



銭塘小竹炭づくり

11月8日、銭塘小にて銭塘校区自治協・青少協のご協力のもと5年生による竹炭作り体験がありました。できあがった竹炭は小学校付近の水路に沈め、環境保全に役立てるそうです。



子宮頸がん・乳がん検診のお知らせ

【日時】12月18日(火) 受付：午後1時～午後2時30分

【会場】天明まちづくりセンター・駐車場

【対象】子宮頸がん検診は20歳以上の偶数年齢の女性

乳がん検診は40歳以上の偶数年齢の女性

※年齢は平成31年3月31日時点の年齢です。

【検診内容】子宮頸がん検診：問診・内診・細胞診

乳がん検診：問診・視触診・乳房エックス線検査

【必要なもの】健康保険証など氏名・住所・生年月日のわかるもの

【自己負担金】子宮頸がん検診：1,000円

乳がん検診：40歳代の偶数年齢の女性 1,500円

50歳以上の偶数年齢の女性 1,100円

※所得に応じた自己負担金の免除があります。

【お問い合わせ】熊本市健康づくり推進課 TEL：361-2145